

今年は猛暑？ 鶏に暑熱対策を！

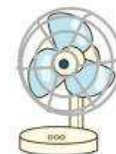
気象庁が発表した夏の天候の見通しによると、東日本太平洋側の平均気温は平年並みか高い見込み、降水量は平年並みか多い見込みとのことです。

つまり、今年の夏は蒸し暑くなる可能性が高いようです。特に鶏は汗腺が未発達なため、汗をかいて体温を調節することが出来ません。今から暑熱対策を行い、鶏が快適に過ごせる環境を整えましょう。

《暑熱対策のポイント》

(1) 直射日光の遮断・断熱・散水

- ・カーテン、よしず、寒冷紗等を利用して、直射日光を防ぎましょう。
- ・今年の夏には間に合いませんが、植樹により木陰を作るのも良いでしょう。
- ・天井、屋根、壁への断熱材の使用。
- ・屋根に石灰を塗布、スプリンクラー等による散水。
- ・鶏舎周辺が地面であれば背丈の低い植物を植える。また、アスファルトやコンクリートであれば鉢植えを置く、夜間の輻射熱対策に夕方にたっぷり散水を行う。



(2) 通風・送風

- ・換気扇や送風ダクトを使用し鶏舎内の換気を行い、温度や湿度を下げましょう。

電気器具の取扱には注意が必要です。コンセントとプラグ間のホコリは発火の原因となります。定期的に掃除をしましょう。

(3) 細霧

- ・鶏舎内に細霧装置を設置し、気化冷却により舎内温度を下げる。
- ・細霧の大きさと目詰まりに注意し、床面を濡らす事がないようにしましょう。

(4) 給水・給餌

- ・冷たく新鮮な水が十分に飲めるようにしましょう。
- ・ニップルの調子も定期的に確認しましょう。
- ・給餌器や給水器を清潔に保ちましょう。
- ・早朝や夕方の涼しい時間帯に給餌しましょう。
- ・不足しがちな栄養分を補うため、ビタミンやミネラルを補給しましょう。



(5) 飼養密度

- ・空気の流れを考えて空きケージを作る。部分的にでも単飼にする。

神奈川県湘南家畜保健衛生所

〒259-1215 平塚市寺田縄345 TEL : 0463-58-0152 FAX : 0463-58-5679